



古典文学

昔のことばと物語にふれてみよう



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

古典文学の入り口	3～4
古典の名作	5～8
古典を読み解く	9～15
見て・ふれて	16～17
深めよう	18～22
まとめよう	23～24
ふり返り	25～30

古典文学ってなに？

古典文学がどんなものか知しましょう。

古典文学とは、昔の人が書き、長い年月を経て今も読みつがれてきた文学作品のことです。多くは平安時代から鎌倉時代にかけて生まれました。

物語・随筆・軍記物語・紀行文など、さまざまな形の作品があります。書かれた時代の暮らしや考え方を知る手がかりにもなります。



代表的な古典文学

竹取物語

伊勢物語

源氏物語

枕草子

徒然草

方丈記

平家物語

おくのほそ道

これから1つずつ、どんな作品なのかを見ていきます。

ポイント

- 古典文学は、当時使われていたことばで書かれているため、今の日本語とは少しちがいます。
- 現代語訳で読むと、意味を理解しやすくなります。

やってみよう

1. 古典文学と聞いて、思いうかぶ作品や人物を1つ書いてみよう。 _____

書いて覚えよう

竹取物語

日本でもっとも古い物語といわれる竹取物語を学びます。

竹取物語は、かぐや姫の物語として知られ、現存する日本最古の物語のひとつといわれています。作られた時期や作者ははっきりしていません。
竹の中から生まれたかぐや姫が、美しい娘に育ち、多くの人に求婚されながらも、最後は月へ帰っていくという物語です。



物語

ものがたり／monogatari

昔の出来事や人物を語る文学の形

かぐや姫

かぐやひめ／Kaguya-hime

竹取物語に登場する主人公

ポイント

- 竹取物語は、後の物語文学にも大きな影響をあたえたといわれています。
- 月に帰るという不思議な結末が、古くから多くの人を引きつけてきました。

やってみよう

- かぐや姫の物語を、知っているところまで話してみよう。

書いて覚えよう

伊勢物語・源氏物語

平安時代に生まれた物語文学を学びます。

伊勢物語は、和歌を中心に短い話が集められた「歌物語」というジャンルの作品です。ある男性の一生を描いたともいわれています。

源氏物語は紫式部が書いたとされる長編物語で、世界的に古い長編小説のひとつともいわれています。光源氏という人物を中心に、平安貴族の暮らしや心の動きがくわしく描かれています。



歌物語

うたものがたり／uta-monogatari

和歌を中心に話が展開する物語

紫式部

むらさきしきぶ／Murasaki Shikibu

源氏物語を書いたとされる平安時代の女性

Emma

源氏物語って、そんなに昔に書かれたの？



Ken

そうだよ。世界的にも古い長編小説のひとつといわれているんだ。

ポイント

- どちらも、和歌が物語の中で大切な役割を果たしています。
- 書き手の多くが女性だったことも、平安時代の物語文学の特徴のひとつです。

やってみよう

1. 和歌が物語の中に出てくることについて、どう思うか書いてみよう。

書いて覚えよう

枕草子・徒然草

「随筆」という形で書かれた古典を学びます。

随筆

ずいひつ／zuihitsu

思ったことや感じたことを自由に書きつづった文章

をかし

をかし

趣がある、おもしろいという意味の古いことば

枕草子

清少納言が書いたとされる随筆。季節の趣や宮中の暮らしを鋭い感性で描く

徒然草

兼好法師（吉田兼好）が書いたとされる随筆。人生や世の中についての考えをつづる

ポイント

- 随筆には、決まった話の筋がなく、思いついたことを自由に書けるという特徴があります。
- どちらも、今も多くの人に読みつかれている名作です。

やってみよう

- もし随筆を書くなれば、どんなことを書きたいか考えてみよう。

書いて覚えよう

地震や火事など当時起きたできごとを記しながら、世の中の移り変わりやすさ（無常観）について語られています。



- 鴨長明は都をはなれ、小さな庵（方丈）でくらしながらこの作品を書いたといわれています。
- 自然災害の記録としても、貴重な資料のひとつとされています。

1. 「ものごとは移り変わっていく」という考え方について、感じたことを書こう。

平家物語・おくのほそ道

軍記物語と紀行文という2つのジャンルを学びます。

軍記物語

ぐんきものがたり／gunki-monogatari

戦いのようすを中心に描く物語

紀行文

きこうぶん／kikoubun

旅のようすや感じたことを記した文章

平家物語

平家一族の栄えと滅びを描いた軍記物語。琵琶法師が語り伝えたといわれる

おくのほそ道

松尾芭蕉が東北・北陸を旅した記録をもとにした紀行文。俳句が多く収められている

ポイント

- 平家物語の「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」という書き出しは、特によく知られています。
- おくのほそ道には、旅先で詠んだ俳句が数多く残されています。

やってみよう

1. 旅の記録を文章に残すことのよさを考えてみよう。

書いて覚えよう

趣がある、おもしろいという意味

しみじみとした感動を表すこと
ば

とても、たいへんという意味

ポイント

- 同じ意味の日本語でも、時代によって使うことばが変わってきました。
- 古語の意味を知ると、古典の文章をより深く味わえます。

やってみよう

1. この中のことばを1つ使って、短い文を作ってみよう。

書いて覚えよう

歴史的かなづかい

昔の仮名づかいのきまりを知りましょう。

歴史的かなづかい	現代の読み方
は・ひ・ふ・へ・ほ（語中・語尾）	わ・い・う・え・お
ゐ	い
ゑ	え
を（助詞以外）	お
ぢ・づ	じ・ず

ポイント

- 歴史的かなづかいは、書き方と発音が今とちがうことが多いです。
- ルールを知っておくと、古文を声に出して読みやすくなります。

やってみよう

- 「いふ（言ふ）」は今のどんな読み方になるか考えてみよう。 _____

書いて覚えよう

古典文学の読み方と、音読のコツを学びます。

現代語訳を横に置きながら読むと、意味と響きの両方を味わえます。

- 徒然草の書き出し「つれづれなるままに、日暮らし、硯にむかひて」は、よく音読の教材に使われます。
- むずかしい部分は読みとばさず、少しずつ声に出してみましょう。

2. 読んでみて感じたリズムを、ことばで表してみよう。

古典の世界の暮らし・古典の笑い

古典の中に描かれた暮らしぶりや、笑いの要素を見てみましょう。

古典の世界の暮らし

十二単

平安時代の貴族の女性の正装

牛車

牛に引かせて人を運ぶ乗り物

古典の笑い

こっけいな話

昔話の中には笑いを誘う話も多い

言葉あそび

掛詞など、ことばの工夫を楽しむ

ポイント

- 古典文学には、しみじみとした話だけでなく、思わず笑ってしまう話も残されています。
- 暮らしのようすを知ると、物語の場面をより想像しやすくなります。

やってみよう

1. 昔の暮らしで、今とちがうと感じたことを1つ書こう。

書いて覚えよう

古典と今の言葉

昔のことばが、今のことばにどうつながっているか考えます。

ことばのつながり

古語の中には、形を変えながら今も使われていることばがあります。たとえば「あはれ」からきたともいわれる「あっぱれ」は、今も感心したときに使うことばです。

ことばの由来には諸説あるものも多いので、興味をもったら調べてみましょう。

ポイント

- 古典を学ぶと、今使っていることばの由来に気づくことがあります。
- ことばは長い年月をかけて少しずつ形を変えていきます。

やってみよう

1. 今使っていることばで、由来が気になるものを1つ書こう。

書いて覚えよう

古典の名場面や、マンガで古典に親しむ方法を学びます。

かぐや姫が月へ帰っていく場面

光源氏と多くの人々が織りなす場面の
数々

平家一族の栄えと滅びをえがく場面

Emma

古典って、文字だけだとむずかしく感じるよ。



Ken

マンガや現代語訳で読むと、ぐっと分かりやすくなるよ。

- マンガや絵本、現代語訳から古典に入るのもよい方法です。
- 興味をもったら、原文にも少しずつ挑戦してみましょう。

1. 古典の名場面をマンガにするなら、どの場面をえらぶか考えてみよう。

- 古典は、すべてを理解しようとしなくても楽しめます。
- 気になった作品を1つ選んで、少しずつ読み進めてみましょう。

1. ここで学んだ中で、いちばん気に入った作品を1つ書こう。 _____

2. その理由も書いてみよう。

ワンポイント 次のページからは、古典文学にもっとふれて、理解を深めていきましょう。

写真や実物を見てみよう

見て、ふれて、古典文学をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

絵や写真の資料

博物館・資料館の展示

図書館の本

テレビ番組

インターネットの動画

実物や映像を見ると、文字だけではわからない雰囲気に気づけます。

ポイント

- 博物館や資料館では、説明を読みながら見ると理解が深まります。
- 家にある古い本や道具も、立派な資料です。

やってみよう

1. 家や学校で、古典文学を感じるものを1つさがしてみよう。
2. 博物館や資料館に行けたら、印象に残ったものを1つ書こう。

ワンポイント 大切な展示物にはさわれないことが多いので、注意書きをよく確認しましょう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に体験すると、古典文学はもっと楽しくなります。

やってみよう

声に出して読む

自分で調べる

絵や文章にしてみる

家族に話してみる

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

ポイント

- 体験すると、本やインターネットだけではわからない発見があります。
- むずかしく感じたら、まず短いものから試してみましょう。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際に体験してみよう。
2. 体験してみて気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

地域によるちがい

古典文学には、地域によるちがいもあります。

共通すること

多くの古典に見られる考え方

自然や季節を大切にする

和歌や随筆に多く登場する

ものごとの移り変わりをみつめる

無常観として表れる

ちがうこと

作品や地域によってちがうもの

物語が生まれた場所

都か地方かでちがう

語り伝えられ方

文字で残るものと口で語られるものがある

ポイント

- 「日本では必ず～する」と決めつけず、地域や家庭によるちがいを大切にしましょう。
- アイヌの人々や沖縄など、独自の歴史をもつ文化にも目を向けてみましょう。

やってみよう

1. あなたの地域ならではの話や習わしを1つ書こう。

書いて覚えよう

琵琶法師などが物語を語った

気軽に世界観にふれられる

A. 昔は記録が少なく、だれが書いたか正確に分からない作品も多いからです。

- わからないことは、そのままにせず、本や詳しい人に聞いてみましょう。

1. あなたが古典文学について疑問に思うことを1つ書こう。

- 古い本や絵巻物にさわる時は、係の人の指示に従いましょう。
- 作品や登場人物を知ったかのように決めつけず、諸説あることも意識しましょう。
- 図書館や博物館では、静かに落ち着いて鑑賞しましょう。

1. 気をつけたいと思ったことを1つ書こう。

22

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

物語と随筆

☐ 物語

昔の出来事や人物を語る文学の形

☐ 随筆

思ったことを自由につづった文章

☐ 歌物語

和歌を中心に話が展開する物語

古語とジャンル

☐ をかし

趣がある、おもしろいという意味

☐ あはれ

しみじみとした感動を表すことば

☐ 軍記物語

戦いのようすを描く物語

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、古典文学がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

- | | | |
|--------------------------|------------------|-------------|
| ☐ | 古典文学の作品を1つ以上言える | 竹取物語・源氏物語など |
| ☐ | 随筆というジャンルを説明できる | 枕草子・徒然草など |
| ☐ | 歴史的かなづかいの例を1つ言える | は一わ など |
| ☐ | 古典の一文を声に出して読んだ | 音読の体験 |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

家族や友だちに話してみよう

学んだ古典文学を、自分のことばで伝えてみよう。

伝えたい作品

由来や意味

自分が感じたこと

相手に聞いてみたいこと

Ken の例

伝えたい作品 竹取物語／由来や意味 日本最古の物語といわれる、かぐや姫の話／自分が感じたこと 月に帰る場面が不思議で印象に残った／聞いてみたいこと 海外にも似たような物語があるか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

古典文学を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

物語

story

昔の出来事や人物を語る文学の形

随筆

essay

思ったことを自由につづった文章



Ken

We usually say 'story' or 'tale' in English.

Emma

How do you say 'monogatari' in English?



ポイント

- すべてを直訳しようとせず、意味を簡単なことばで伝えることが大切です。

やってみよう

1. 紹介したい古典作品を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

古典文学の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

関係する本を借りる

博物館へ

実物の展示を見に行く

動画で

映像や音を確かめる

次に学びたいテーマ

平安時代

貴族の暮らしと文化

和歌と俳句

短いことばで表す美しさ

能・歌舞伎

古典を題材にした芸能

ポイント

- この教材の次は、関連するテーマをさらにくわしく学んでいきましょう。

書いて覚えよう

古典文学チャレンジ

教室の外でも、古典文学はすぐに見つかります。

見つけよう

本や図書館で**古典文学**の作品を1つ手に取る

聞いてみよう

家族に**昔の物語**について質問する

伝えよう

好きな古典作品を**友だちや家族**に紹介する

こたえ

L28 物語→ウ 随筆→オ をかし→エ あはれ→ア 軍記物語→イ 1. 正しい / 2. まちがい

L33 (例) 古典文学とは、昔の人が書き、長い年月を経て読みつがれてきた文学作品のこと。

書いて覚えよう

古典文学 (Season 9 | No.89)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。